

ごてんば社協だより

ひだまり



笑顔満開!

4月のふれあい会食会開催



4月11日(木)、平成25年度最初の「ふれあい会食会」が開催されました。

4月の会食会では、毎年お花見に外出をしています。今年の桜は早咲きでしたが、ちょうど見頃だった富士霊園へ伺い、満開の桜を楽しみました。

桜と共に、参加者の皆様にも笑顔の花が満開になりました。



ふれあい会食会

ふれあい会食会は、毎月第2木曜日に、市内の独居高齢者が一堂に会し、食事を楽しむ催しです。調理ボランティアわらび会による季節ごとの料理と、様々な余興を楽しんでいます。

ひだまり No.240

もくじ

- 4月のふれあい会食会開催…………… 1
- 第3回ボランティアバス運行事業開催… 2
- ボランティア連絡協議会通信………… 3
- 断酒会の活動紹介/普通会员募集…… 4
- 第30回ふれあい広場参加団体募集… 5
- 福祉情報玉手箱 ……………6

第3回 東日本大震災支援ボランティア ボランティアバス運行事業開催!!



岩手県山田町へのボラバス

今回で3回目(平成23年度に2回実施)となるボランティアバス運行事業は、岩手県山田町へ伺いました。今回のボランティアバス運行は、市内在住の篤志家(匿名希望)からの「東日本大震災被災地へのボランティアバスを運行に使って欲しい」という、熱い気持ちのこもった寄付をいただき、社会福祉協議会が企画しました。

山田町復興支援愛センターとの事前調整の結果、山田町での活動は、津波で流出した写真の洗浄、整理、デジタル化の活動と、仮設住宅の集会所とデイサービスセンターを会場としたサロン活動の、2つのニーズに対応することとなりました。

会場

岩手県下閉伊郡山田町
山田町社会福祉協議会復興支援愛センター

日程

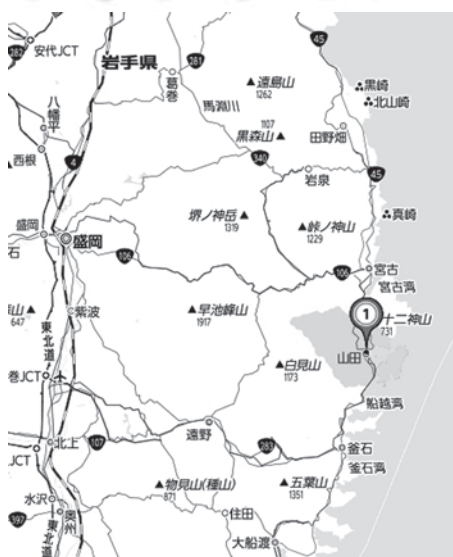
平成25年4月12日(金)～14日(日)

参加者

21名(スタッフ2名含む)
男性12名、女性9名
30代～76歳まで

内容

・津波で流出した写真の整理活動
仮設住宅集会所、デイサービスセンターでのサロン活動



流出写真の整理活動

流出写真の活動については、これまでに洗浄はすべて終了し、現在は、写真を見つけやすくするため、整理とアルバム内の情報を書き出す作業が行われていました。旧山田病院内の写真公開コーナーで行われたこの作業には、スタッフ2名を含め11人に対応しました。アルバム内にある写真を一枚ずつチェックし、手がかりとなるお名前、撮影場所や時期、家族構成、結婚式や七五三といった写真の内容等の情報を探し出していきましました。こうしたヒントとなる情報をアルバムの表紙に記載し、カテゴリ分けをして整理しました。



山田町では、10万枚の流出写真を回収し、これまでに3万枚が持ち主の元に返っているそうです。今でも月に数百枚ずつ返却されているとのことでした。私たちが作業している間には、地元の女性が2名訪れ、真剣な表情で探しておられました。そのうち1人の方は、家族の写ったものを発見し、うれしそうに持って帰っておられました。地元職員のお話では、何度も探しに来られる方が本当に多くいるとのことでした。

流出写真とじっくり向き合うこの活動を経験して、こうした「思い出」を返す活動の大切さをあらためて感じています。参加者からは「整理をした写真の中に、白黒の古い写真や故人の遺影等、無くなってしまうという写真には是非手元に返したい。」といった感想が聞かれました。

今後は、今回の活動のような、被災者の手元に返しやすくする活動とともに、写真をデジタル化し保存していく作業も行われていくとのことでした。まだまだ、ボランティアの力が必要だと感じました。

日本もまだ捨てたものじゃない 仮設住宅でのサロン活動

サロン活動については、まぎど仮設団地集会所と共生会デイサービスセンターの2か所で開催しました。

2011年12月に実施したボランティアバス運行事業に参加いただいた皆様を中心に、絵本の読み聞かせ、フラダンス、大正琴、大道芸・伝統芸能等を披露しました。集会所では、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方30名と、デイサービスでは26名のお年寄りとの交流が行われました。

震災から2年が経過した現在、遠方からのボラバスという形での支援は減ってきているのが現実であり、今回のサロン活動に参加いただいた山田町の皆様は大変喜んでいただきました。デイサービスの職員から「2年経ってもこうして応援に来ていただけて、とてもうれしい。日本もまだまだ捨てたものじゃない。」と話しておられました。

静岡県から岩手県山田町まで約700kmと離れていますが、こうした「つながり」をとおして、心の距離は近づいていくのではないかと思います。今回のように、山田町とのつながりを強くする活動が実施できるのであれば、費用以上の効果が期待できると感じます。今後もこれまでと同様に、被災地でのボランティア活動が必要だとして強く感じる3日間となりました。



ボランティア連絡協議会通信

ボランティア連絡協議会は、ボランティア活動に関する情報交換や連絡調整を行い、社会福祉の向上や、災害時における高齢者や障がい者の救援活動の普及を目的に活動しています。

平成25年度総会が開催されました。

平成25年4月20日(土)、市民交流センターふじざくら内ボランティアビューローで、御殿場市ボランティア連絡協議会総会を開催しました。

平成24年度事業・決算の報告、平成25年度事業計画・予算の説明が行われ、承認を得ました。

平成25年度は、昨年度から実施にむけ準備を進めている「知的障害者ガイドヘルプ(養成)事業」について、発災時から続けている東日本大震災被災地支援に関する取り組みを継続します。

また、社協の取り組むボランティア定例相談日への相談員派遣やふれあい交流会の開催等、今年度も、会員である団体・個人と協力して、ボランティア活動の推進に努めていきます。

平成25年度役員構成

今年度もよろしく願いいたします。

会長		勝俣	三郎
理事(副会長)		小宮山	なほみ
理事(副会長・会計)		大沼	こずゑ
理事		荻田	雅美
理事		神保	久美子
理事		辻井	啓
理事		山田	誠司
理事		伊藤	国夫
理事		出原	文男
理事		國武	弘子
理事		大窪	民主
顧問		黒澤	佳壽子
顧問		大窪	民主

ボランティア相談の相談員・コーディネーターを担当しています

社協の実施するボランティア相談へのコーディネーター及び相談員を派遣しています。

日時：毎週月・水曜日 午前10時30分～午後14時30分

毎月第2土曜日 午後10時～12時

場所：市民交流センターふじざくら ボランティアビューロー ○相談員は役員が対応しています。

年間活動日程

通年	3月15日(土)	3月15日(土)	2月	1月	12月1日(日)	10月20日(日)	10月19日(土)	28日(土)	9月21日(土)	8月17日(土)	7月7日(土)	6月15日(土)	4月20日(土)
知的障害者ガイドヘルプ(養成)事業 東日本大震災被災地支援に関する取り組み	第151回全体会 ボランティアリーダー研修会	広報誌みんなのわ39号発行 第150回全体会	第36回静岡県ボランティア研究集会 場所：焼津市	新年会 第149回全体会	御殿場市地域防災訓練モデル地区 訓練参加協力 障害者週間キャンペーン参加	ふれあい交流会 場所：国立中央青少年交流の家	第148回全体会	第30回ふれあい広場参加	クリーンアップ作戦 場所：国道246・138周辺	広報誌みんなのわ38号発行 第147回全体会	御殿場市災害ボランティア研修会 第146回全体会	第145回全体会 総会	

酒害からの回復と、人としての成長を目指す 「断酒会」の活動をご存じですか

「断酒会」というと、名前は聞いたことがあるが、どんな活動をしているのか分からないという方がほとんどではないでしょうか。

断酒会は、アルコール依存症という、お酒のコントロール障害をもった、仲間の集まりです。病を抱えた自らと、その酒害を受けてきた家族を「酒害者」と呼び、同じ悩みを持つ仲間と共に、回復と成長を目指し活動しています。

主な活動内容は、自らの酒害体験を語り、仲間の体験談を静かに聞く「例会」への参加と、研修会や各種大会の企画・参加等です。こうした活動とおして、自分を改革し新しい人生を創っていきます。

また、お酒の問題を抱えている方々への相談活動を実施しています。自らの酒害や回復の過程を相談者に伝え、共に断酒の道を目指そうと語りかけています。アルコール依存症からの回復には、実践活動が必要になります。病についての知識を得て、節酒や断酒に一人で取り組んでも、なかなか難しいものです。

断酒



断酒会で語られる体験談は、酒害者にとって心揺さぶられるものです。一人では気づくことが難しい、飲酒時代の自分の姿や、そこからの成長を活動とおして感じる事ができます。

「断酒生活は苦しいものではありません。楽しいことがいっぱいありますよ。私たちとそれを探そうではありませんか。」

断酒の誓い

- 1、私たちは酒に対して無力であり、自分ひとりの力だけでは、どうにもならなかったことを認めます。
- 2、私たちは断酒例会に出席し、自分を率直に語ります。
- 3、私たちは酒害体験を掘り起こし、過去の過ちを素直に認めます
- 4、私たちは自分を改革する努力をし、新しい人生を創ります。
- 5、私たちは家族はもとより、迷惑をかけた人達に償いをします。
- 6、私たちは断酒の飲びを、酒害に悩む人たちに伝えます。

酒害相談連絡先

御殿場断酒会 代表 高村達夫

電話 89-0886

御殿場市社会福祉協議会 普通会员加入のお願い

社会福祉協議会の会費は、住民組織としての性格を表す最も重要な財源となっており、毎年、全世帯に普通会员への加入のお願いをしています。

この普通会費は、賛助会費・特別会費と合わせ、福祉教育の推進や相談援助生活支援活動等、左下の表の様に活用させていただきます。

平成25年度の会費納入については、各区長様を通じて7月末日までの取りまとめをお願いさせていただきます。

市民の皆様には、趣旨をご理解いただき、会員としての加入と各事業へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成25年度 普通会员之章



社会福祉法人
御殿場市社会福祉協議会

普通会費

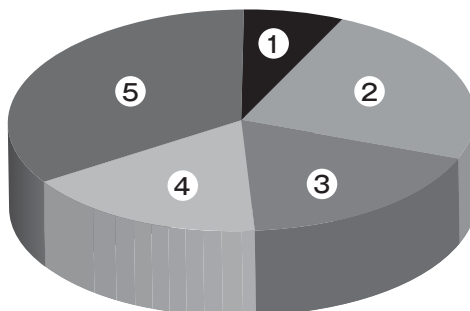
500円

(1世帯あたり年額)

平成24年度 会費の使われ方

内訳	予算額(千円)	%
① 福祉教育実践校推進	1,134	7
② 相談援助・生活支援活動	3,522	24
③ 在宅福祉推進事業経費等	2,644	18
④ 広報啓発	2,525	17
⑤ 地域福祉活動・ボランティア活動の推進	5,223	34
合計	14,875	

※普通会費・賛助会費・特別会費の合計



第30回御殿場市ふれあい広場 参加団体募集

市民交流センター「ふじざくら」を会場に市内の福祉施設、ボランティアグループなどの福祉関係団体が一堂に会し、活動紹介や模擬店、ゲームなどを通して、市民の皆様とのふれあう「第30回御殿場市ふれあい広場」を開催します。

開催に当たり、趣旨に賛同し、新たに出展いただける団体や施設を募集いたします。

- 募集対象……………市内を中心に福祉を主目的とする活動を行うボランティア団体・NPO法人・福祉施設・介護保険事業者等
- 出展内容……………活動・施設の紹介 模擬店(食品・物品)販売など ※食品の種類によっては保健所の許可が必要となります
- 会場……………御殿場市民交流センター「ふじざくら」(全館使用) 御殿場市萩原988番地の1
- 日時……………平成25年9月28日(土)午前9時45分から午後2時30分まで ※事前準備は前日20日(金)の午後から

申込み・問合せ

6月末日までに御殿場市社会福祉協議会へ

TEL **0550-70-6801** FAX **0550-89-5501**



ボランティアを募集します

ふれあい広場本部運営の補助や、抽選所の運営、ゲーム進行等をお手伝いしていただけるボランティアを募集します。ふれあい広場を一緒に盛り上げませんか?

日時 平成25年9月28日(土)午前9時～午後3時
会場 御殿場市民交流センター「ふじざくら」
対象 高校生以上の市民
定員 20名(先着順)
締切 平成25年9月20日(金)

申込み・問い合わせは
上記連絡先まで



9/28

9:45~14:30 **土**

市民交流センター
「ふじざくら」



障がい
関係

さくら学園、のぞみ作業所、さつき学園

高齢者
関係

グループホームかわした、古民家デイホームたまほ村、デイホームたまほ村爽、富士山麓病院、グループホームごてんば、労協御殿場地域福祉事業所つばさ

※御殿場市内の受入施設紹介

■申し込み・問い合わせ

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県社会福祉協議会
静岡県社会福祉人材センター(福祉人材部人材課)
電話 054-271-2110
電話 054-272-8831

参加費

無料

内容

利用者との交流、利用者の介護・助、作業補助

場所

静岡県社会福祉協議会が調整した
受入施設・事業所※

日時

平成26年2月までの間で3~10日間

福祉の仕事の基本は人とのふれあい。そこには、楽しさ、面白さ、新鮮な驚きがあります。社会福祉やその仕事に関心のある高校生以上の県民を対象として、福祉施設での現場体験を実施します。

「感謝・感動・共感」の、新たな福祉の「3K」を実感してみませんか。



「福祉の職場体験」へ
参加しませんか



得する面白い役に立つ福祉情報玉手箱



聞こえの相談室開催 参加者募集中!!

中途失聴者と難聴者の方々の社会参加と自立を支援するため、失った聴力を補うための方法、不自由な日常生活の改善を図るための方法についてお知らせする相談会を実施します。

日時 平成25年6月8日(土)
午後10時～午後3時

場所 御殿場市民交流センター「ふじざくら」ボランティアビューロー

内容 福祉制度や補聴器の利用について、筆談や手話、読話、要約筆記制度の利用について、市内の補聴器専門店、ボランティアのメンバーがお答えします。

対象

聞こえに不自由している人とその家族、聞こえにくい人への接し方に興味のある方

参加費

無料
要約筆記サークルさくらんぼ
補聴器専門店

申し込み・問い合わせ

御殿場市社会福祉協議会
電話 70-6801



第32回

サマーショートボランティア 活動計画

参加者募集中!!



サマーショートボランティア活動計画は、夏休みや夏期厚生休暇を利用した短期のボランティア活動を、社会福祉施設や社会教育施設で実施し、ボランティア活動を体験するプログラムです。

この活動には、静岡県内の多くの学生、社会人の皆様に参加していただいています。昨年度は、県内で948名、御殿場市においては64名の方が参加しています。

市内の福祉施設で、ボランティア活動を体験できる貴重な機会です。興味のある方は、ぜひ参加して下さい!

○募集要項は社会福祉協議会の窓口で配付しています。

日時 平成25年8月1日～8月30日の間で連続4日以上

対象 中学生高校生以上の学生、一般社会人

参加費 1000円

(資料代、通信費等運営費の一部として)

申し込み・問い合わせ

静岡県ボランティア協会
サマーショートボランティア係
〒420-0856
静岡県駿府町1-70 県総合社会福祉会館内
電話 054-255-7357

「健康フェスタふじおやま」

医師による講演会とお楽しみステージへ参加しませんか。

日時 平成25年6月1日(土)
午後1時30分～(1時より受付)

場所 小山町総合文化会館菜の花ホール

内容 【講演会】

「C型肝炎はいよいよ治る時代に突入」
小嶋清一郎医師(富士小山病院非常勤内科医)

【お楽しみステージ】

御殿場吹奏楽団による演奏
健康グッズお楽しみ抽選会

参加費 無料

申し込み・問い合わせ

(社)有隣厚生会 富士小山病院
電話 0550-78-1200

御殿場市災害ボランティア研修会

御殿場市において災害が発生したとき、被害の復旧・復興にボランティアがどう関わっていくのか、どうすればより円滑に支援を受けることができるのか学びます。

日時 平成25年7月7日(日)午前10時～午後4時

場所 御殿場市小山町広域行政組合消防庁舎3階

内容 講演会・ワークショップ

講師 李仁鉄氏(いがた災害ボランティアネットワーク)

定員 80名(先着順)

対象 災害ボランティアに興味のある方

参加料 無料

申し込み・問い合わせ

6月30日までに社会福祉協議会へ
電話 70-6801 FAX 86-5501
e-mail: info@gosyakyu.jp